神戸線大阪駅における車両の確認による列車遅延の原因と対策について

6月26日（月）に神戸線大阪駅構内での車両の確認により列車の遅れを発生させた事象について、原因が判明しましたので、対策とあわせてお知らせいたします。ご利用のお客様にはご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

- 1 発生日時
2023年6月26日（月） 6時47分頃
- 2 発生場所
JR神戸線 大阪駅 構内
- 3 列車名
回送電車 4両編成
※大阪駅到着後「大阪（6：43）発、福知山（8：57）行の快速電車」として運転予定でした。
- 4 概況
6時47分頃、当該の回送電車が大阪駅に到着後、防護無線の機能に不具合がある可能性が判明したため、前途の運転（全区間）を取り止めました。
そのため、JR神戸線、JR京都線では、運休や遅れが発生しました。
- 5 列車影響
<運休> 計3本（上り1本、下り2本 部分運休含む）
<遅れ> 上り快速電車[新三田（7：05）発、大阪（7：55）行]が20分遅れたのを最大に、計56本（上り35本、下り21本）に20～5分の遅れ
<影響人員> 約43,000人
- 6 原因
防護無線機の機能確認を行うための試験ボタンに、一時的な不具合が発生したためです。
※確認の結果、防護無線機の機能自体に異常はありませんでした。」
- 7 対策
防護無線機の試験ボタンに不具合が発生した際の代替となる、機能確認方法や不具合解消方法を改めて関係者に共有し、運転再開までの時間の短縮に努めてまいります。